

大好き！ ダンゴムシ！

年中

2025年6月



年少の頃からダンゴムシに関心がある桃組さん。春の花々と一緒にダンゴムシが顔を出し始めると、戸外遊びの度にバケツを抱えてダンゴムシを探しに行く姿が見られるようになりました。虫が苦手な子もダンゴムシには積極的で、「かわいい〜」とツンツン触ったり、掌にのせて愛でたりと、大人気です。

「ダンゴムシってなに食べるのかな？」と担任が呟くと、あるお友達が「葉っぱだよ！」と教えてくれました。「あとは？」「・・・？」…なんだろうね、と顔を見合わせる子ども達。

そこで、ダンゴムシについて、子ども達は図鑑で、担任はインターネットで調べてみました。そして、ダンゴムシはどんな所が好きで、どんな物を食べるのか、オスとメスはどう見分けるかなどを知ると、「先生！飼ってみたいから虫かごと霧吹き、買って！」と声が上がりました。

そこで早速、虫かごと霧吹きを用意し、土と葉っぱ、石を入れてダンゴムシのお家を作りました。



楽しい楽しいお世話の毎日。戸外遊びに出掛けると、「あ！ダンゴムシさん忘れたー！」と駆け足で迎えに行く姿もありました。しかし残念ながら動かなくなってしまったダンゴムシもありました。

“なぜ死んでしまったのか”ということ、虫かごの中を観察しながら皆で考えました。

「ご飯が足りなかったから？」「砂がカラカラになってる！」と様々な声が聞こえました。その中で「楽しい遊びしすぎちゃった…」とお世話を忘れてしまっていたことに気が付いたお友達もありました。

“遊びたい”と“ダンゴムシのお世話をしたい”という葛藤があり、皆で話し合いました。「お外遊びの時間を半分半分にしよう？」「でも忘れちゃうかも・・・」と話し合った末にダンゴムシ係を作ることにしました。毎日交代で同じ机のお友達が担当します。命の尊さを感じながら生き物に触れ、責任感が芽生え始めています。

